

開場 18:00
開演 18:30

2023.

12月5日(火)

料金 3,500円

サロン・ド・パッサージュ
(東京都文京区関口1-1-3 ピアノ・パッサージュ内)
有楽町線 江戸川橋駅 4番出口より 徒歩1分30秒



チャイコフスキー
なつかしい土地の思い出 op.42
(ヴァイオリン & ピアノ)

ラフマニノフ
2つのサロン 小品 op.6 より
(ヴァイオリン & ピアノ)
・ロマンス ・ハンガリー舞曲

ラフマニノフ
ピアノ三重奏 第1番 ト短調 悲しみのトリオ

ショスタコーヴィッチ
ピアノ三重奏 第2番 op.67 ホ短調

チケットお申し込み・お問合わせ

050-7123-5471
duo.feygin@gmail.com



ピアノ チェロ ヴァイオリン

新見フエイギン 浩子
ステパン・ヤコーヴィッチ
ドミトリー・フエイギン



ステパン・ヤコーヴィツチ Stepan Yakovich (ヴァイオリン)

モスクワ生まれ。モスクワ音楽院にてイリーナ・バチコーヴァ氏に師事、大学院卒業。ロシア国内コンクールにて入賞する。その後国内外で演奏活動始める。ソリストとして指揮者ジュピレール、ポリヤンスキーと、またトレチャコフ、バシュメット、イストミン、ブルネツラなど多くの著名な演奏家と共演する。2005年から2012年まで、室内楽オーケストラ『ソリストモスクワ』のコンサートマスターを務める。その後、2012年から2018年まで、グリンカ弦楽四重奏の第一ヴァイオリンを務める。2020年モスクワ音楽院教授に就任し、現在に至る。



ドミトリー・フェイギン Dmitry Feygin (チェロ)

チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母、ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ四重奏楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンに、ピアニストのティグラム・アリハーノフに師事する。最近では、小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクールの審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。2016年にシューベルト、アルベジオーネ・ソナタ他CDをリリース。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2019年には無伴奏チェロ曲集をリリース、特選版に選ばれている。2021年デュオフェイギンで、ロシアアルバムCDを新たにリリースする。現在東京音楽大学教授。



新見 フェイギン 浩子 Niimi Feygin Hiroko (ピアノ)

大阪に生まれる。桐朋学園高等音楽学校に入学する。その後、ハンガリー・ブタペスト、リスト音楽院にてピアノを、ナードル・ジョルジュやゾルタン・コチシュなどに師事する。その後、1990年からモスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノを、ドミトリー・バシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院長であったティグラム・アリハーノフ、ヴァレンティン・フェイギンなどに師事する。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコヴィッチ室内楽コンクール(デュオで夫であるチェリストのドミトリー・フェイギンと)やソロではイタリアのヴィオッティ国際ピアノコンクールなどで賞を受賞する。

1990年からドミトリー・フェイギンと共演する。2010年の3月に催された同シリーズ演奏会は、モスクワ国立フィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。2006年から2011年までくらしき作陽大学音楽部で後進にもあたる。2015年4月から東京音楽大学付属高校講師。2020年から東京音楽大学非常勤講師。

2023.

12月5日 火

開場 18:00 開演 18:30

サロン・ド・パッサージュ

(東京都文京区関口1-1-3 ピアノ・パッサージュ内)
有楽町線 江戸川橋駅 4番出口より 徒歩1分30秒



チケットお申し込み・お問い合わせ

050-7123-5471

duo.feygin@gmail.com

